

①高梁川上流域

河川の特徴

- ・中国脊梁山地が分水界となり、広島県に跨って流域を形成する。
- ・新見市街地等の盆地やカルスト地形が浸食された溪谷を流れる。

流域の特徴

- ・新見市街地には都市機能、交通結節機能があり、周辺には畜産、ブドウ、トマト等の栽培や鍾乳洞等の観光が盛んな地域が広がる。

重点対策

- 水源かん養と利水ダムの活用
 - ・森林の保全、利水ダムの有効活用等
- 流出抑制対策
 - ・沿川市街地、観光地の流出抑制対策等

②高梁川中流域

河川の特徴

- ・吉備高原山地の谷間を流下し、高梁市街地を貫流する。
- ・高梁川と成羽川に沿って低地部が広がる。成羽川には利水ダムとして新成羽川ダムがある。

流域の特徴

- ・備中の国の中心として栄えた高梁市街地に都市機能が立地する。
- ・白桃等の農業、城下町の風情ある観光が盛んな地域である。

重点対策

- 水源かん養と利水ダムの活用
 - ・森林の保全、利水ダムの有効活用等
- 流出抑制対策
 - ・沿川市街地、観光地の流出抑制対策等
- 土地利用規制
 - ・浸水エリアへの立地抑制等
- 住民参加型の河道対策
 - ・住民参加型の樹木化抑制対策等

<高梁川流域における流域治水対策（イメージ）>

- 岡山県最大の豊かな水源を誇り、旧東高梁川を統合した治水対策が行われ、工業生産が飛躍的に拡大して、観光・農業も盛んな豊かな地域である。
- 岡山県全体を牽引する工業・観光や豊かな居住環境、中上流の市街地等の被害軽減を目指して、ひとたび氾濫すれば甚大な浸水被害となることにも留意して、流域全体の関係者が密接に連携した流域治水対策を推進する。



③高梁川下流域

河川の特徴

- ・古地、酒津の狭隘部を抜けて倉敷市で小田川と合流し、倉敷、玉島両平野を南下する。
- ・大正14年に旧東高梁川を廃川・統合して現在の河道となる。
- ・令和6年3月に小田川合流点付け替え事業が完了。

流域の特徴

- ・江戸時代以降の干拓、埋立てによりゼロメートル地帯を形成。
- ・全国有数の水島コンビナートを擁し、倉敷市・総社市には多くの企業が立地する。美観地区など一大観光地を形成している。

重点対策

- 農業用水路、田んぼダム普及
 - ・既存用水路における事前水位調整等
- 流出抑制対策
 - ・中心市街地における流出抑制対策等
- 土地利用規制
 - ・浸水エリアへの立地抑制等
- 確実な避難と早期安全確保
 - ・洪水時の自発的行動の普及等
- 企業・住民等との連携
 - ・企業等と連携した貯留施設整備等
- 住民参加型の河道対策
 - ・住民参加型の樹木化抑制対策等

岡山三川の比較

- <最大> 流域面積 2,670km² 計画高水流量 13,400m³/s
- <最大> 流域の山地面積 約2,456km²
- <最大> 製造品出荷額等 約5.6兆円 粗付加価値額 約1.1兆円

その他特記事項

- 官民流域連携組織が活動。
- ・高梁川流域連盟（昭和29年設立）等

高梁川

河川・流域の特性（補足資料）【議論用資料】

河川の特徴

第1期河川改修、高い堤防と平成30年7月豪雨以降の治水対策

- ・ **第一期河川改修（大正14年完成）**により**倉敷市**で**東西両派川**に分かれていた**東派川**を**西派川**に統合。西派川の一部も締め切られ、**柳井原貯水池**として整備された。
- ・ **高梁川下流部**の**倉敷平野**等では、**堤防高は非常に高く、ひとたび氾濫すると大きな浸水被害**が発生する可能性がある。
- ・ **平成30年7月豪雨後、小田川合流点付け替え事業**や**本川の築堤、河道掘削**等を推進。



第一期改修による西派川の締め切り

高梁川下流部における高い堤防高



中上流は盆地に市街地が形成され、中流からは樹林化等の傾向

- ・ **中上流部**は、扇状地性の盆地である**新見市街地**や比較的広い低地部が広がる**高梁市街地**の**中心部を本川が流下**する。
- ・ **中流から下流**は、**鉄穴流し**による**土砂供給**等により**天井川**となっている。
- ・ **高梁川中下流、小田川下流部、本川・支川の合流部**等は**河床勾配が緩やか**になる**変化地点**になっているため、**土砂堆積、樹林化**等が進行しやすい傾向にある。



中心部に高梁川が流れる高梁市街地

酒津地区下流における砂州の形成



流域の特徴

全国有数の工業地帯を擁し関連企業等が集積、就職後の定住も進む

- ・ **紡績産業**から始まる。高度経済成長期、**水島**に**全国屈指の石油・鉄鋼等の大型コンビナート**が整備され、**倉敷市・総社市は多くの企業が立地する企業城下町**となっている。
- ・ **美観地区**や**鬼ノ城、備中松山城等、岡山県を牽引する一大観光地**を形成している。
- ・ **就職後**に**倉敷、総社等に定住**する住民も見られ、**一戸建の住宅着工が多い**特長がある。



河口部に整備された水島コンビナート（左岸）



新しい住宅が立地

広大な山地、活発な農業と農業用水路の発達

- ・ **高梁川**は**広島県に跨って流域を形成**しており、**山地が占める割合も約92%**と高い。
- ・ **中上流**では**豊かな山地**を利用した**林業**や**新成羽川ダム**など**豊富な水源**を活用するための**利水ダムの建設**も進められて来た。
- ・ **中上流**は**畜産、果樹**などの農業が盛んで、**下流部**は**干拓により整備された水田**が広がり、**農業用水路も発達**している。



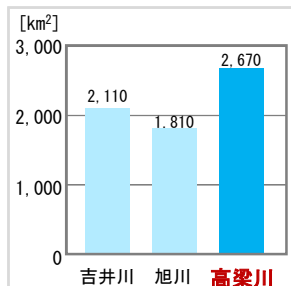
酒津公園にある東西用水南配水樋門



張り巡らされた農業用水路（西岸用水路）

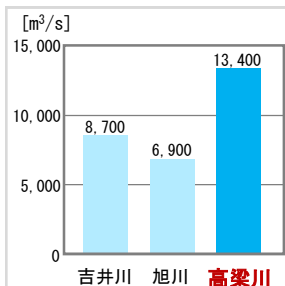
岡山三川の比較

<流域面積>



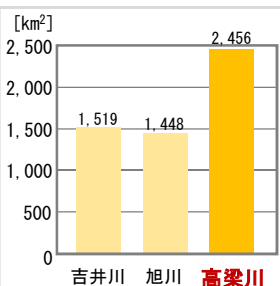
出典) 河川現況調査 (基準年: 平成 27 年)

<計画高水流量>



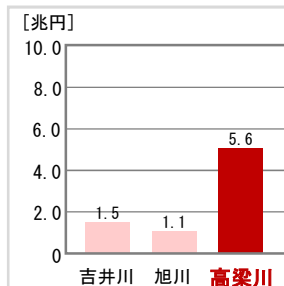
出典) 吉井川河川整備基本方針 (令和5年12月変更) 旭川河川整備基本方針 (令和6年3月変更) 高梁川河川整備基本方針 (平成19年8月策定)

<流域の山地面積>



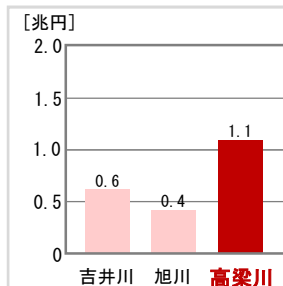
出典) 河川現況調査 (基準年: 平成 27 年)

<製造品出荷額等>



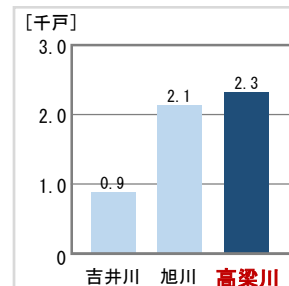
出典) 2021年 経済構造実態調査速報 流域関連市町村を単位とした集計 (政令市は区を単位とした集計)

<粗付加価値額>



出典) 2021年 経済構造実態調査速報 流域関連市町村を単位とした集計 (政令市は区を単位とした集計)

<一戸建新規住宅着工戸数>



出典) 令和5年度 建築着工統計調査住宅着工統計 流域関連市 (町村は除く) を単位とした集計 (政令市は区を単位とした集計)

高梁川

重点的に取り組む流域治水対策（補足資料）【議論用資料】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

広大な森林の水源かん養と利水ダムの有効活用

- ・高梁川は広島県に跨って流域を形成しており、岡山三川の中でも流域の山地面積が最も大きい。中上流では林業が盛んで、新成羽川ダムなどの建設も行われている。
- ・このため、水源かん養など、森林の有する多面的機能を維持・増進するための林業の活性化を図る。
- ・また、利水ダムの治水機能として、事前放流を活用するなど、利水ダムの有効活用を推進する。



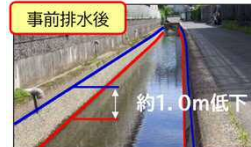
水源かん養等多面的機能を有する森林資源の保全



利水ダムにおける事前放流の有効活用

既存農業用水路、田んぼの有効活用

- ・平安時代からの湛井堰や下流の笠井堰等から取水され、かんがい面積約7,600haに水利用されている。農業用水路も広く張り巡らされている。
- ・このため、既存農業用水路の事前水位調整や田んぼダムの普及促進等により、雨水貯留機能の向上を図る。



事前排水後
倉敷市内を貫流する農業用水路の事前水位調整



堰板、のぼり旗の支援等による田んぼダムの普及促進（倉敷市）

流域一体の流出抑制と内水対策

- ・中上流には新見、高梁等の市街地が形成され、下流部の倉敷平野、小田川沿川等には市街地が広がる。高梁川本川への流出抑制と各地の内水被害の軽減を図るには、上下流が一体となった流出抑制対策が必要である。
- ・このため、施設の新設・更新に合わせて雨水流出抑制が図られるよう、公共施設への貯留施設の整備や民間施設への貯留施設の整備に対する協議の義務化等を進める。

被害対象を減少させるための対策

本川からの氾濫対策のための土地利用規制、住宅対策

- ・高梁川下流部の倉敷平野等では、堤防高が非常に高く、ひとたび氾濫すれば甚大な浸水被害が生じる可能性がある。
- ・このため、本川からの氾濫対策として、土地利用の規制や水災害に強い住宅の建て方等について、民間の関連団体等と連携しながら、普及促進を進める。



【先導例】倉敷市における浸水に強い住宅の建て方への官民連携の働き掛け

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

大規模洪水時における確実な避難と早期安全確保

- ・高梁川本川は堤防等の整備が進み、氾濫頻度は低くなって来ているが、大規模洪水時には氾濫により大きな浸水被害が生じる。
- ・このため、大規模洪水時における確実な避難等を実現するためのマイタイムライン等の自発的な防災行動の普及や防災活動における拠点の整備等を総合的に推進する。



市役所庁舎建替に伴う災害対策活動拠点機能の強化（総社市）

流域治水への住民参加等の取組

大規模な施設整備を行う企業・住民等と連携した流域治水の推進

- ・倉敷市は、水島地区に全国屈指の規模の水島コンビナートが建設され、倉敷市・総社市等には関連産業を始め多くの企業が立地し、企業の関連施設等も多く立地する。
- ・このため、民間事業主への新規整備・更新に合わせた耐水化対策、貯留施設の整備等に官民連携して取り組む。



【先導例】倉敷総合病院における医療業務継続を図るための耐水化対策

住民参加型による継続的な堆砂、樹林化の抑制対策の推進

- ・中流から河床勾配が緩やかになり、土砂堆積による砂州の形成や樹林化が進行しやすいため、予算等の制約の中で継続的な抑制対策の実施が必要となっている。
- ・このため、樹林化抑制のための踏み倒しや牧草地利用など、住民参加型による継続的な堆砂、樹林化の抑制対策を推進する。



【先導例】真備町における樹林化抑制のための住民による踏み倒し活動